

守谷市地域包括支援センター運営協議会  
R8-1 (R8.5.18) 資料No.2

# 令和7年度 守谷市南部地域包括支援センター実績報告

守谷市南部地域包括支援センター

【地域支援事業】

1 総合事業 介護予防・生活支援サービス事業

事業内容	計画	実績
介護予防ケアマネジメント	要支援者等に対する介護予防及び日常生活支援のためのケアプラン作成	チェックリスト該当者: 0件 要支援者へのケアプラン作成 包括直営 8件 委託 89件 <hr/> 合計 97件 ○ 委託先: 18件 ○ 契約者数: 435人 (令和8年3月末現在)

2 包括的支援事業(地域包括支援センターの運営)

事業内容	計画	実績			
		R7	R6	前年比較	
総合相談支援業務	①相談業務				
	窓口・電話・訪問による相談		676件	592件	+84件
	延件数		2,349件	1,871件	
	実数内訳	認知症関連	69件	65件	+4件
		介護保険関連	480件	400件	+80件
		高齢者福祉関連	46件	13件	+33件
		一般介護予防関連	12件	13件	-1件
		医療関連	28件	24件	+4件
		介護者の離職関連	0件	0件	
		その他	41件	77件	-36件
	②時間外対応業務				
	対応件数		9件	12件	-3件
時間外対応内容		緊急退院対応 退院前カンファレンス出席 安否確認 取手・利根・守谷地区研修会 認知症講座 介護相談(休日電話対応) ケアマネ会幹事会 担当者会議 介護相談			

<b>②高齢者訪問(旧熱中症予防訪問)</b>						
対象世帯		455件	350件	+105件		
訪問・電話確認		414件	329件	+85件		
不在		37件	10件	+27件		
フォロー件数		28件	29件	-1件		
サービスにつながった件数		3件	4件	-1件		
権利擁護業務	<b>①高齢者虐待対応</b>					
	対応件数		3件	1件	+2件	
	<b>②相談業務</b>					
	窓口・電話・訪問による相談		19件	20件	-1件	
	延件数		67件	74件		
	実数内訳	成年後見相談件数		3件	1件	+2件
		虐待相談件数		3件	1件	+2件
その他			13件	18件	-5件	
ケアマネジメント支援事業 包括的・継続的	<b>①専門職研修会</b>					
	「いま」を生きる高齢者の医療～脳梗塞について～		参加者41名			
	ヤングケアラー支援～子どもを支えるためにできること～(権利擁護)		参加者38名			
	<b>②介護支援専門員への支援</b>					
	3月実績		27件			

### 3 包括的支援事業(社会保障充実分)

事業内容	計画	実績
地域ケア会議推進事業	① 介護予防のための地域ケア個別会議の開催	① 地域ケア個別会議開催 専門職による助言をもらい要支援者のプランを検討した。 10回 20件 ② 地域ケア個別会議開催 困難事例について、ケース関係者と処遇検討した。 3回 3件

#### 4 介護予防支援

介護保険の要支援1・2の認定を受けた方が、個々の状態に応じて自立に向けたサービスを提供していくためのケアマネジメントを実施した。

(包括直営)	12 件
(委託)	163 件
合計	175 件

○ 委託先: 24 件 (令和8年3月末現在)

#### 5 総括【1年間を振り返っての気付き・課題】

事業名	気付き・課題
総合相談支援業務	<p>本来、家族が行うべき対応を「家族が忙しいから」「遠方だから」との理由で、地域包括支援センターに対応を希望する本人や家族からの電話相談が増加傾向にあった。地域包括支援センターとしては、家族が担うべき支援は、可能な限り家族に対応をお願いしたいと考えている。</p> <p>また、電話相談では、相談者の顔や表情が見えないため、相談内容をより慎重に傾聴し、適切なサービスにつなげられるよう努めてきた。そのためには、相談者のニーズに沿った支援につながるよう、医療、介護、福祉、地域等の関係者と顔の見える関係づくりを一層強化していくことが必要であると考えている。</p>
権利擁護業務	<p>複合的な困難事例が増加している。具体的には、認知症による判断力低下に慢性疾患や身体機能の低下が重なり、服薬管理や通院が困難になるケース、家族や近隣との交流がなく緊急時に対応できないケース、セルフネグレクトによるゴミ屋敷化や住環境の悪化、経済的困窮により必要なサービスや医療が受けられないケースなどが挙げられる。また、8050 問題や、本人・家族がサービスの利用を拒否しアウトリーチが困難なケースなど、多岐にわたる問題が同時に、あるいは連鎖的に発生している。これらの事例は職員にも精神的な負担が大きい。</p> <p>そのため、今後は地域包括支援センターだけで抱え込まず、行政機関と連携しながら、介護・医療・福祉、地域関係機関と連携した支援体制を構築していくことが課題であると考えている。</p>

<p>包括的・継続的ケアマネジメント支援事業</p>	<p>介護支援専門員（以下、CMとする）との同行訪問は、CMの活動を支える上で非常に有効な機会であった。CMが抱える課題やケースの背景を理解し、適切なサポートを検討する上で貴重な情報となった。また、個々のCMの支援に対する考え方、具体的な対応方法や利用者への思いに直接触れることができた。地域全体のケアマネジメントの質向上に向け、必要な情報提供や助言、多職種連携の促進を考える上で重要であり、今後も、包括的な視点から支援を行い地域住民への質の高いケア提供に貢献していく。</p>
<p>地域ケア会議推進事業</p>	<p>生活支援コーディネーターが会議に参加し、高齢者のニーズに対して、多様な地域資源やサービスの情報が共有された。これにより、高齢者の「困りごと」に対する支援の選択肢を増やすことにつながった。</p>